



2016-2017

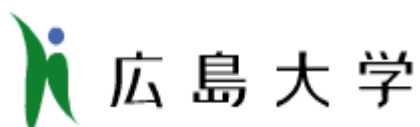
Global Explorers to Cross Borders

グローバルインターンシップ(G.ecbo)プログラム
—海外・国内インターンシップ—

募集要項



広島大学
G.ecbo プログラム事務局



1 G.ecbo (ジーエクボ) プログラムとは…

G.ecbo プログラムは、国際社会の中で活躍できる実践的研究者と高度専門職業人の育成を目的として、主に日本国外でのインターンシップを核に実施される大学院特別教育プログラムです。本プログラムでは、原則全学の大学院生を対象に分野横断的な課題に携わる国際機関、教育・研究機関、政府機関、NGO、開発コンサルタント会社等多様な受入機関へインターンとして1~2 か月程度学生を派遣します。このほか工学研究科(ECBO プログラム、海外共同研究)や国際協力研究科(i-ECBO プログラム)のように、特定の研究科に在籍する学生のみを対象に海外インターンシップを提供する専門 ECBO プログラムも実施されています。本プログラムの詳細については、別冊リーフレット、またはホームページ(<http://www.hiroshima-u.ac.jp/gecbo/index.html>)を御覧ください。



2 プログラムの概要と研修科目の履修について

本プログラムでは、現地でのインターンシップ活動を通じて得られた体験を、より長期的な観点から実りあるものとするため、インターンシップ派遣の前後に研修を行うサンドウィッチ型教育を採用しています。具体的なプログラムの構成は下表1. のとおりです。本プログラムへの参加を希望する学生は、原則、①コア科目の履修、②専門科目の履修、赴任前の③リスク管理セミナーへの参加、帰国後の④帰国報告会での成果発表を行うことが義務付けられています。

表1. G.ecbo プログラムの構成と研修科目

	事前研修			海外・国内 インターンシップ		事後研修
	事前 コア 科目	専門 科目	リスク 管理 セミナー	現地研修/ 研究活動	現地中間/ 最終報告会	帰国 報告会
G.ecbo/ i-ECBO	◎	◎	◎	◎	○	◎
その他の 専門 ECBO	△	◎	◎	◎	○	◎

◎は原則必須。○は推奨。△は一部選択可。事前履修科目は担当教員と相談すること。

ただし、コア科目や専門科目の取り扱いと具体的な履修科目については、応募学生が所属する研究科によって若干異なります。また、専門 ECBO プログラムについては、実施担当研究科において独自に設定されているため、事前に所属研究科学生支援室および G.ecbo 事務局 (gecbo@hiroshima-u.ac.jp) までお問い合わせください。

合わせ下さい。

① コア科目

コア科目は、現地での円滑な活動に必要な課題発見・解決能力とコミュニケーション能力の基礎を形成するために、派遣前に履修すべきものと、現地での活動の振り返りと経験知への深化を目的に帰国後に履修すべきもので構成されています。各科目・研修の履修時期とプログラム別履修要件については、下表2.のとおりです。

表 2. G.ecbo プログラム・コア科目 (平成 28 年 3 月現在)

科目群	履修時期	G.ecbo/ i-ECBO	その他 専門 ECBO	科目名
演習形式科目群 (正規科目)	事前	必須	選択可	能力開発特論(前期) *1
その他の研修等 (単位なし)	事前	必須	選択可	英語プレゼンテーショントレーニング *2
	事前	必須	必須	FLARE 等による英語研修 *3 (一部正規科目有り)
	事後	必須	選択可	帰国報告会

*1 大学院共通科目のシラバスを参照のこと。受講が難しい場合は必ず事前に事務局と相談すること。

*2 G.ecbo プログラムによる英語発表研修。語学能力に応じ、PPT を用いて派遣前に 2-3 回、帰国後に 1 回実施。

*3 外国語教育研究センター (FLARE) 開講の正規科目 (大学院共通科目の『アドバンス・イングリッシュ I 』) または英語研修プログラム (詳細は同センターHP (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/flare/>) 参照)。

その他、IDEC が開講している英語力向上のための授業 (英語論文作法 I, 英語論文作法 II) に換えることも可。

② 専門科目

専門科目は、現地におけるインターンシップ活動に必要な専門的知識・技術の修得を目的として、派遣前に履修すべき科目のことです。応募者の専門や希望する受入機関での活動によって異なりますので、所属研究室の指導教員や受入機関担当教員とよく相談の上、履修する科目を決定してください。

なお、国際協力研究科に所属する応募学生については、既に履修科目が指定されていますので、本要項 p. 5 を参照してください。

③ その他

上記の科目のほか、海外生活において留意すべき点や海外旅行保険について説明を行う「リスク管理セミナー」への派遣前の参加と、インターンシップ後に実施される「帰国報告会」での成果発表が必要です。

また、本プログラムでのインターンシップ活動について正規科目として単位認定を申請することが可能な場合があります。単位認定の可否や具体的な手続については、所属研究科の学生支援室、または G.ecbo 事務局までお尋ねください。

なお、博士課程後期学生が本プログラムに参加する場合、英語プレゼンテーショントレーニング以外の科目の履修、研修への参加は任意となっております。しかしながら、上記に定めた科目・研修或いはそれらと同等な科目・研修を既修していることが期待されています。

3 平成28年度海外・国内インターンシップ派遣先および受入可能人数

本要項に添付されている別紙1を参照してください。

4 選考方法

- ・応募締切 平成 28 年 4 月 19 日(火) 12:00 正午
- ・提出書類
 - －G.ecbo 海外インターンシッププログラム申請書(別紙様式1*:データ送付要)
但し、国内インターンシップ希望者は国内インターンシッププログラム申請書
 - －志望理由書(英語または日本語で記述, A4 で1～2枚程度)(別紙様式2*:データ送付要)
 - －英語能力試験の証明書の写し(TOEIC®, TOEFL®, 英検等)
 - －指導教員の承諾書(別紙様式3*)
 - －『学研災付帯賠償責任保険(学研賠)』加入の確認書類(保険料支払い領収書写し等)

* 様式 1, 2, 3 については, G.ecbo の HP から以下の要領でダウンロード可能
G.ecbo ホームページ → 学生の皆さんへ・提出書類 → Word/PDF

- ・面接 平成 28 年 4 月 27 日(水), 4 月 28 日(木) **【予定】**…原則英語で実施
- ・結果通知 平成 28 年 5 月 13 日(金)**【予定】**
- ・ガイダンス 平成 28 年 5 月中旬頃 **【予定】**

ただし、受け入れの最終決定は本プログラムからの推薦を受けて受入機関によりなされます。また、派遣国・地域の治安状況や事前研修の習得状況により、プログラム運営委員会が適切でない判断した場合は、インターン派遣を取りやめることがあります。

5 経費補助・義務(p.6 参照)

- ・プログラムの応募者の中から選考された学生のうち日本国外に派遣される者に対しては、受入機関最寄りの空港までの渡航費【エコノミー利用】について経費補助されます。
- ・渡航にかかるビザ等の諸費用や宿泊費、現地生活費については個人負担となります。ただし、選考の結果優秀と認められた応募学生については、プログラムが申請している奨学金の支給対象者となります。また、選考において優秀と認められたものの当該奨学金の資格要件に合わなかった学生については、同等額をプログラムから支給します。
- ・現地での移動費等諸費用および研究費も原則として本人負担となります。
- ・事前事後研修や各種ガイダンスへの欠席或いは必要提出書類や課題の未提出または大幅な遅延が頻発し、プログラムの遂行が困難と判断された参加学生については、当該学生の参加を停止の上、渡航費、奨学金等返納の対象となる可能性があります。

6 保険の加入

プログラム参加者には、『学研災付帯賠償責任保険(学研賠)』に加入することを義務付けています。『学研賠』については、申請時に加入を確認いたします。

また、海外インターンシップ滞在時のリスクを最小限とすることを目的として、派遣前には原則、大学で包括契約をしている『東京海上日動海外旅行保険』に加入することも義務付けています。

7 注意事項

- ・インターンシップ研修の派遣期間については、受入先との協議の上で決定します。一旦決定された研修期間は、派遣国・地域の治安情勢の悪化や病気等のやむを得ない事情以外、期間の変更は許可されません。
- ・選考結果によっては、本プログラムに併行して、学内の他の経費支援プログラムへの推薦を打診する場合があります。推薦を受ける場合は、別途申請書の作成を依頼することがありますのでご了承ください。

8 専門 ECBO プログラム

① 工学研究科 ECBO インターンシッププログラム

- ・ 工学研究科では当該研究科に在籍する大学院生を対象に、独自に ECBO インターンシッププログラムを行っています。このプログラムへの応募を希望する場合は、応募要領等、詳細について直接工学研究科学生支援室(国際事業担当)へお問い合わせください。
- ・ 応募開始 4月5日(火), 応募締切 4月11日(月)17時

② 国際協力研究科 i-ECBO インターンシッププログラム

- ・ 国際協力研究科では、G.ecbo プログラムと連携し、当該研究科に在籍する学生を対象に i-ECBO インターンシッププログラムを行っています。このプログラムに関する質問等につきましては、下記 9 までお問い合わせください。
- ・ i-ECBO プログラムへの参加に際して履修すべき科目が指定されています。詳細については本要項の P.5 をご参照ください。また、プログラム参加者への経費補助については、独自の基準で行っておりますのでご注意ください。具体的な内容については本要項の P.6 を参照ください。
- ・ 応募締切 平成 28 年 4 月 19 日(火) 12:00 正午
- ・ i-ECBO プログラムの面接は 4 月 28 日(月), 5 月 2 日(火)を予定しています。G.ecbo プログラムの面接予定日とは異なりますのでご注意ください。

9 お問い合わせ及び応募申請書提出先

G.ecbo プログラム事務局(東広島キャンパス学生プラザ 2 階)

E-mail gecbo@hiroshima-u.ac.jp
082-424-6213 (FAX4565)

または、i-ECBO プログラム事務局(国際協力研究科 1 階支援室)

E-mail iecbo@hiroshima-u.ac.jp
082-424-6902 (FAX6904)

【国際協力研究科における履修科目と履修方法】

国際協力研究科から G.ecbo または i-ECBO プログラムに参加を希望する学生は、原則下表の各科目群の中からそれぞれ最低1科目を選び履修すること、および2種類の英語研修を履修することが条件となります。ただし、英語受験にて入学した学生は、外国語教育研究センター（FLARE）による英語研修の履修は必須ではありません。

《履修科目一覧》

科目群	履修方法	科目名
講義形式科目群	選択 必須	平和構築論(後期)
		国際環境協力学特論 I/II (前期:集中, 後期)
		指導教員指定科目
PBL 形式科目群	選択 必須	開発技術論(前期)
		教育協力実践基礎論(前期)
		国際協カプロジェクト演習(前後期)
		指導教員指定科目
演習形式科目群	必須	能力開発特論(前期) *1
その他研修等 (単位なし)	必須	英語プレゼンテーショントレーニング *2
	必須	FLARE 等による英語研修 *3 (一部正規科目有り)
	必須	帰国報告会

*1 大学院共通科目のシラバスを参照のこと。受講が難しい場合は必ず事前に事務局と相談すること。

*2 G.ecbo または i-ECBO プログラムによる英語発表研修。語学能力に応じ、PPT を用いて派遣前に 2-3 回、帰国後に 1 回実施。

*3 外国語教育研究センター（FLARE）開講の正規科目（大学院共通科目の『アドバンス・イングリッシュ I』）または英語研修プログラム（詳細は同センターHP (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/flare/>) 参照）。
その他、IDEC が開講している英語力向上のための授業（英語論文作法 I、英語論文作法 II）に換えることも可。

また、国際協力研究科では上記プログラムでのインターンシップに参加することによって、「インターンシップ」科目として2単位を取得することが可能です。単位申請手続については、学生支援室、又は各プログラム事務局までお尋ねください。

なお、博士課程後期学生については、英語プレゼンテーショントレーニング以外は任意となっております。しかしながら、上記科目或いはそれらと同等な科目を既修していることが期待されています。

2016年度 G.ecbo プログラム費用補助説明 / G.ecbo Program Financial Assistance 2016

必要経費/Necessary Expense		G.ecbo Internship Program	i-ECBO Internship Program	G.ecbo/i-ECBO Domestic Internship Program	備考/Remark
旅費 Transportation	自宅 ⇄ 西条/東広島駅 Your house ⇄ Saijo/Higashi-Hiroshima station	×	×	×	*日程確定後に大学指定業者へ連絡し、チケットの手配 *Contact one of the travel agents below after internship schedule is fixed.
	東広島駅・西条駅⇄国内空港 (JR) Saijo/Higashi-Hiroshima station ⇄ Airport in Japan (JR)	◎	◎	×	【大学指定業者】 広島大学生協トラベルセンター、広島大学生協トラベルショップ、 トラベルファクトリー、トラベルネットスタジオIC事業部、 近畿日本ツーリスト(株)広島支店、(株)西日本日中旅行社 広島支店、 (株)アートツーリスト
	国内空港 ⇄ 現地空港(Air) Airport in Japan ⇄ Overseas airport	◎	◎	×	【会計手続きに必要な書類/Necessary documents】
	派遣国内移動費 Transportation fee in the host country	★事務局協議要 Prior consultation required. (陸路での移動が難しい場合の航空費のみ)例:インドネシア、フィリピン、ネパール (出発前申請が必要)			×
宿泊・生活費 Accommodation, Living expense	<p>宿泊ホテル代・現地生活費 (前泊・トランジット時の宿泊含む) Accommodation fee, Living expense (incl. transit hotel)</p> <p>× 原則支給しない</p> <p>ただし、選考の結果優秀と認められた応募学生については、プログラムが申請している奨学金の対象者とする。また、選考において優秀と認められたものの当該奨学金の対象外となっている学生については、同等額をプログラムから支給する。</p> <p>× Not Provided in principle.</p> <p>However, those students who are evaluated excellent in the selection, will be recommended to an available external scholarship. For those students who are excellent, but didn't meet its criteria, equivalent financial support will be provided from the Program.</p>	<p>○ 実費分 一部補助</p> <p>研修期間 (1~30日):5万円まで " (31日~):8万円まで ※渡航期間は研修期間に含まない。</p> <p>○ Part of Actual Expense</p> <p>Internship period (1~30 days): up to 50,000 yen " (over 31 days): up to 80,000 yen</p> <p>*Travel period is not included in Internship period.</p>	×	× 支給しない × Not Provided.	<p>実際にかかる費用については、先輩学生に聞く事！ Ask your senior student actual expences during internship!</p>
保険 Insurance	海外旅行保険費用 Overseas travel insurance	×	×	-	
	学研災 Gakkensai	◎ 大学負担にて加入済 Already Paid by Univ.	◎ 大学負担にて加入済 Already Paid by Univ.	◎ 大学負担にて加入済 Already Paid by Univ.	
	学研賠:Gakkenbai (Liability Insurance) (申請時に加入しておくこと)	×	×	×	
ビザ Visa	ビザ費用 Visa acquire expense	×	×	-	申請を旅行会社に依頼した場合には手数料がかかります。
	ビザ取得のための費用 (領事館への交通費・手数料) Other expenses such as transportation fee to the Consulate General	×	×	-	

◎:全額補助/Full amount paid by Univ. ○:一部補助/Part of actual expense will be paid ×:自己負担/Responsible for all expenses
※ 研修期間とは実習開始日から実習終了日を指します。 Please note that internship period counts from the beginning date until the last date of internship.

海外・国内インターンシップ受入(可能)機関リスト(2016-2017年度)

1. Geccoプログラム(全研究科学生対象)

2016.3.30現在

国名	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	住所	備考
中国	中南大学	資源地球科学・鉱物学	金属資源	2-3週間	2名	英語	Guest Hotel of Central South University	湖南省	
インドネシア	インドネシア教育大学	人文学分野	日本語教育関連、日本語学関連、日本史、日本文学、日本文化	3-4週間	2-3名	日本語および必要に応じて英語、インドネシア語	学生寮	バンドン	
インドネシア	アイルランガ大学 水産・海洋学部	水産・海洋学	インドネシアにおける水産・海洋学的研究をアイルランガ大学と共同で実施	1ヶ月程度	若干名	英語又はインドネシア語	近隣ホテル(30~40ドル/日)	スラバヤ	実質的な研究を行うので、指導教員をまじえてテーマと実行内容の詳細な事前相談が必要 HP: http://www.unair.ac.id/
カンボジア	メコン大学日本語ビジネス学科	日本語教育、日本文化	日本語教育の実践、およびカリキュラムの作成等	2ヶ月-1年間	4~5名程度	日本語(日本語能力がN1or N2程度以上)、英語、(現地クメール語話者歓迎)	大学寮(基本無料、エアコン使用時電気代負担)	プノンペン	教員の一人として大学生を指導。学食利用時、昼食・夕食無料。
フィリピン	シリマン大学海洋研究所	海洋環境保全、海洋保護区、海洋生物研究	海洋保護区における動物資源の育成・拡散、海洋生物の基礎研究	7月以降	2名程度	英語	大学の寮が利用可能(万が一空き室が無い場合は、近郊ホテルが\$20程度で利用可能)	ドゥマゲテ(ネグロス島)	自ら積極的に海洋生物学研究を行う姿勢が求められる。ラボのベンチフィーとして\$10/日が必要。
フィリピン	フィリピンリーフ・レインフォレスト保護財団(The Philippine Reef & Rainforest Conservation Foundation)	環境保全、環境教育	環境保全、野外環境教育	1か月程度 ただし、活動の期間が限られており、事前に調整が必要	1名	英語	受入機関からの宿泊の便宜は困難のため近隣で個人でのアレンジが必要。(相場:1泊3,000円)		少人数で運営されているNPOであり、実践力が求められる。Native並の英語能力と、海洋生物学に対する知識、野外活動能力が必要。希望提出前に必ず情報提供元に相談し、適性を見てもらうこと。
フィリピン	株式会社 アルメックVPI	学生の専門に応じて調整	都市計画、交通学、etc	夏期	2名程度	英語・日本語	ホテル(40ドル/日(幹旋可))	マニラ	
ベトナム	株式会社 アルメックVPI	学生の専門に応じて調整	都市計画、交通学、etc	夏期(1ヶ月以上)	2名程度	英語・日本語	ホテル300ドル/月(幹旋可)	ハノイ	JICAの事業請負、インターン学生の研修テーマに応じて研修内容はFlexibleに対応
ミャンマー	復建調査設計株式会社ヤンゴン事務所	主に土木工学、都市計画。社会科学系も受入可。	社会インフラ開発、都市交通計画	1ヶ月程度	1-2名程度	日本語 英語	未定	ヤンゴン	具体的な研修内容については参加者の専門や希望も考慮しながら調整する
ネパール	FORWARD	開発科学、環境・農林業・社会システム科学	持続的域開発、環境・農林業・住民生活に関する社会システム	夏期・冬期(1-2ヶ月程度)	2名程度	英語・できればネパール語	15~25ドル/日(幹旋あり) :食費含む	Nepal, Chitwan郡	本部はチトワン、フィールドに出る際には車両借り上げとなり自費負担となる。借り上げ料金¥4,000~5,000/日 *ネパール西部は危険レベル3なので要注意
インド	マドラスクリスチャンカレッジ	教育開発、国際教育協力、教科教育協力、インド地域研究	教育開発、英語教育、数学教育、特別支援教育	受入機関との調整により決定	1~3名	英語、タミル語	近隣ホテルまたは寮(訪問時期によって異なる)	チェンナイ	・相談に応じて適切な受け入れ教員を紹介 ・受け入れ教員との相談によって図書館などの学内施設が使用可能 ・安全管理等については受け入れ教員の指示に従うこと
バングラデシュ	Grameen Bank	学生の専門に応じて調整	マイクロクレジット、教育、エネルギーetc	原則1月-3月(1-2ヶ月)	2名程度、5~10名でのグループ受入も可	英語・ベンガリ	10ドル/日(幹旋可)	ダッカ他	Grameen Bank, Exposure visit 料金\$30-50、インターン学生の研修テーマに応じて研修内容はFlexibleに対応
アメリカ合衆国	フロリダ州立大学	高等教育	高等教育機関教員(TA)の養成	1ヶ月程度	若干名	英語	近隣ホテル	フロリダ州タラハシー市	同大学が主催するTA研修に参加するとともにメンターについてフィールド活動も体験する。 HUSA提携校の一つ。 現地において調査許可を取得することができないため、上記研修活動に加えて、独自にテーマを持って調査を行うことは非常に困難である。事務局、担当教員と要相談。
ロシア	ロシア科学アカデミー ウラル支所	環境地球化学・資源地球科学	環境地球化学・資源地球科学	随時(2週間程度)	若干名	英語・ロシア語	近隣ホテル	Miass, Chelyabinsk district, Russia	
オーストラリア	グリフィス大学 量子動力学センター	量子情報科学	量子情報通信、量子計算処理、量子測定、精密測定(以上、実験研究、理論研究とも)	2か月以上。基本的にも受入可能	2人(実験研究1人、理論研究1人)ただし柔軟に対応可能	英語	近隣シェアードハウス(比較的安い料金で利用可能)学生寮(11月-2月)	ブリスベン	

国名	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	住所	備考
未定	特定非営利活動法人AMDA ボランティアセンター	医療和平、平和構築	医療和平プロジェクトの調整、被災者、難民支援	未定(長期休暇中)	若干名	派遣先言語による	派遣先からのあっせん		
ラオス	アイ・シー・ネット(株)提携先の企業、NGO	農業・農村開発・貧困対策・産業開発・教育・児童保護	農業開発の可能性調査、一村一品運動の支援、観光開発事業・マーケティング・ソーシャルビジネス・養育(日本語教育・音楽教育など)・ノンフォーマル教育・人身取引対策・エコツーリズム	期間は最低1ヶ月間、開始時期・終了時期は受入先と調整の上決定	各受入先2名程度	英語は必須、ラオス語またはタイ語ができれば歓迎。	アイシー・ネットが指定するゲストハウス。費用は自己負担。(1泊1,000~2000円程度)	ラオス南部 チャンパサック	本インターンシップ参加の際は、別途参加費が必要。(2か月まで8万円/月、3か月目以降は月3万円(税別)) 【参加費に含まれるもの】 派遣前の情報提供、事前研修、現地での空港送迎、携帯電話の貸与、クイックラオス語講座、宿舍と職場の間の車の通勤アレンジ、コンサルテーション、オプションツアー、ビザの延長支援、業務完了レポートの指導、緊急時支援
在外事務所	JICA事務所	国際協力・開発援助	受入事業所による	受入事務所による		受入事業所による			興味のある学生はJICAインターンシップサイトより、別途応募が必要。(http://www.jica.go.jp/recruit/intern/) H28年度募集に関しては4月頃募集開始(HP要確認)
タイ	国際連合アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP)			随時。但し3か月以上		英語	近隣ホテル(紹介あり)	バンコク	政治情勢によっては派遣取りやめの可能性があります。
Hiroshima	国連国連訓練調査研究所(UNITAR)	学生の専門に応じて調整	OJT	1-3月、4-6月、7-9月、10-12月	ピリオドごとに2名	英語・日本語	広島市内通勤	広島市中区	英語、日本語で業務遂行可能なドクターレベルの学生期間は3ヶ月以上

色塗りの機関は推薦後、受入機関によって選考がなされる機関

※照会先:G.ecbo事務局 < gecbo@hiroshima-u.ac.jp >

2. 専門ECBOプログラム(特定研究科所属学生対象)

a. i-ECBOプログラム(国際協力研究科所属の学生のみを対象)

国名	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	住所	備考
インドネシア	バンドン市(West Java Environmental Protection Agency)	環境	廃棄物処理、水資源管理、災害被害の緩和等	夏期ラマダン後(1ヶ月)	2名程度	英語・インドネシア語	近隣ホテル有 24USD(シングル)35USD(ツイン)/日、値段交渉可	バンドン	http://www.bphhdjabar.go.id
インドネシア	スラバヤ市	環境	交通問題、ゴミ問題	1-2か月	若干名	英語、できればインドネシア語	近隣ホテル 23ドル程度/日	スラバヤ	
インドネシア	ブライジャヤ大学	環境	住宅の省エネルギー	9月~10月(約2か月)	1名	英語・インドネシア語	要照会	マラン	
マレーシア	マレーシア工科大学スルタンイスカンダー研究所	環境	省エネルギー住宅	1ヶ月~3ヶ月	3名	英語	学生用宿舎、ゲスト用宿舎	ジョホール	
インド	オリエンタルコンサルタンツ	環境	インフラ整備	1ヶ月間	1-2名	英語	要相談	バンガロール	
インド	UNNATI Organization for Development Education	環境、教育開発、平和構築	災害管理、農村開発、防災教育・啓蒙活動	受入機関との調整により決定(長期が望ましい)	2名程度	英語	あり または近隣ホテル(要相談)	グジャラート州・カチュまたはラジャスタン州	
ネパール	Alternative Energy Promotion Center (AEPC)	環境	環境プログラム	受入機関との調整により決定	若干名	英語	近隣ホテル	カトマンズ	ダサイン月を避けて日程調整。
バングラデシュ	シェレバングラ農業大学(SAU)	農学、農村開発、地方自治と開発研究、貧困研究	再生可能エネルギーの利用、有機農業、農業協同経営、環境農業、キッチンガーデニング、various income generation programs、マイクロクレジット他を含む小規模農業	1月(1ヶ月)モンスーン、ハルタル等を避けて調整要。	最大2名/年1回	英語・できればベンガル語	寮又は近隣のホテルやドミトリ	ダッカ	
バングラデシュ	バングラデシュ農村開発研究所(Bangladesh Academy for Rural Development (BARD))	環境・教育開発、教育農村開発、地方行政、気候変動、農業拡大、ジェンダー等にフォーカスした農村開発	Institutionalizing local level poverty monitoring system, women involvement in income generating programme, renewable enegyery use, organic farming, cooperative farming, cooperative based comprehensive development program, micro credit, etc.	1月(1ヶ月)モンスーン、ハルタル等を避けて調整要。	最大2名/年1回	英語・できればベンガル語	近隣の宿泊施設	クミッタ	
南アフリカ	国際移住機関(International Organization for Migration)	平和構築、平和共生、多文化理解	外国人恐怖症、外国人嫌の問題、特に移民に対する攻撃への政策的対応に関する調査研究、提言	3か月以上	若干名	英語	宿泊施設は月々600~1000米ドル。大学の宿泊施設の利用可能性を検討中。	プレトリア	M2以上で、研究テーマに関する学識のある者に限る。
ボスニア・ヘルツェゴビナ	モザイク ファウンデーション	平和構築、平和共生	和解プロジェクト“PRO-Future”への参加	2ヶ月以上	若干名	英語	宿泊施設をみつつけるためのサポートあり	サラエボ	

国名	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	住所	備考
日本国内	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン	人道援助, 平和構築, 復興援助, 災害救助・復興支援	受入対象分野の本部事業(広報等), イベント補助, 小学校での国際協力紹介補助など	受入機関との調整により決定	若干名	業務ができる程度の日本語力が必要	・(神石高原)宿泊施設“ゆっくら” ・(福山駅周辺)ビジネスホテル	広島県	時期により仕事内容が変わるため, 事前に相談することが望ましい。
日本国内	(株)水俣湾浪雲工房/NPO植物資源の力	平和共生, 環境	環境教育, 自然共生による村おこし, 水俣病の学びと伝承のサポート	受入機関との調整により決定(6~8月以外。高温多湿のため避けた方がよい)		日本語, 英語(日本語で多少のコミュニケーションができることが望ましい。英語のみの場合は複数でのインターンシップ受入れを希望。)	宿泊施設あり	熊本県水俣市	
フィリピン	国際非営利法人ICLEI (International Council for Local Environmental Initiatives)	気候変動, 持続的経営, 東南アジア環境	環境プログラム	随時(原則2ヶ月以上)	若干名	英語	近隣ホテル有 2,400~3,500円/日	ケソン	フィリピン国内各都市にて実施されている環境プロジェクト調査に従事。業務遂行可能な英語力が必要。職歴があれば尚可。プログラムからの推薦後、受入機関による選考あり(Skype面接含む)。
スイス	在ジュネーブ国際機関ラオス代表部 Permanent Mission of Lao PDR to United Nations Office at Geneva (UNOG)	国際開発	環境プログラム	1~3か月	若干名	英語	近隣ホテル	ジュネーブ	プログラムからの推薦後、受入機関による選考あり
バングラデシュ	株式会社パデコ	教育開発	算数科教育, 教師教育, 地域カリキュラム開発	受入機関との調整により決定		英語			プログラムからの推薦後、受入機関による選考あり
日本国内	公益財団法人 地球環境戦略研究機関(IGES)	環境	募集プロジェクトによる	受入機関との調整により決定	若干名				プログラムからの推薦後、受入機関による選考あり

色塗りの機関は、プログラムからの推薦後、受入機関によって選考がなされる機関。

※照会先:i-ECBO事務局 < iecbo@hiroshima-u.ac.jp >

b. ads-ECBOプログラム(先端物質科学研究科所属の学生のみを対象)

国名	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	住所	備考
台湾	高雄Chang Gung記念病院 生物医学トランスレーショナル研究所 肝臓移植研究グループ	医学	免疫抑制機構に関する研究研修	夏期休業中(1ヶ月)	若干名	英語・日本語	ゲストハウス一泊350元(約1200円)	高雄	受入先承諾済(共同研究実施中)。期間は約1ヶ月

※照会先 担当教員・河本先生 < skawa@hiroshima-u.ac.jp >

c. ECBOプログラム(工学研究科所属の学生のみを対象)

詳細については 工学研究科支援室へ直接お問い合わせください。

※照会先 工学研究科支援室 < kou-gaku-daigakuin@office.hiroshima-u.ac.jp >